

オニヤブソテツ (鬼藪蘇鉄)

名前の意味^{いみ}：ヤブソテツ^{いみ}にて、葉が厚くて頑丈^{がんじょう}だから。ヤブソテツは、藪^{やぶ}に生えるソテツ^{いみ}にた葉をつけるシダの意味。

分類：シダ類、オシダ科、ヤブソテツ属

好きな場所：海岸近くの日陰の湿った道ばた、崖^{がけ}

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生^{じせい})

特徴：地面から出る細長い三角形の小葉がならぶ、つやつやした濃い緑色の葉、裏に丸い膜^{まく}がついていることがある。

胞子の運ばれかた^{ほうし}：風に飛ばされる

花弁の数：花はない

葉のある時期：一年中

見分け方：ナガバヤブソテツは非常によく似ているが、内陸^{ないりく}に生える。ヤブソテツは、葉が薄^{うす}く、小葉が多くて、つやがない。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)